

AMDA

ザグザグと災害時協定

被災地用の医薬品確保

大規模災害発生時に、円滑に医薬品などを被災地に届けるため、国際医療NGO「AMDA」（北区）は、ドラッグストアチェーン「ザグザグ」（中区）と連携協力協定を結んだ。

ザグザグ本社で締結式が今月14日にあり、AMDAの菅波茂代表とザグザグの藤井孝洋社長が協定書に調印した。災害発生時にAMDAは、ザグザグ各店

舗に在庫のある医薬品

や生理用品などから必要分を優先的に確保でき、被災地に届ける。

菅波代表は「災害発

生から1、2週間後、擦

り傷の手当てや風邪な

どの感染症を治すため

に大量の薬などが必要

になる。在庫量の多い

ザグザグと協力が不可欠

」と連携の意義を強調。

藤井社長は「AMDAに任せることで必

要な物を必要な場所に

届けられ、多くの被災

者を救えるのではない

か」と協定締結の理由

を述べた。

【瀬谷健介】



連携協力の協定書に調印するAMDAの菅波茂代表(左)とザグザグの藤井孝洋社長 —中区清水のザグザグ本社で